

事業評価シート

担当課・室長：

研究調査室長
地球温暖化対策課長

事業名	先進技術の実践普及
上位施策名	地球温暖化対策
1 事業の概要	<p>温室効果ガス削減に資する新技術と自然エネルギー、バイオマスエネルギーを複合的に組み合わせた先進的な温室効果ガス削減システムを整備・構築し、この事業で得られた成果をマニュアル化することなどにより、自治体等における温室効果ガス削減システムの導入促進を図る。</p> <p>温室効果ガスの長期的な削減と安定的な経済発展の両立を目指す脱温暖化社会を実現させるためには、新たな視点に立った温暖化対策として、現行の技術に関する情報を正しく評価し、実社会に適用できる技術開発を戦略的に推進していくことが求められている。</p> <p>このため、「CO₂削減・固定化等技術知識ベース形成調査」においては、近年急速に開発が進められているCO₂削減・固定化等に関する各種の技術情報や動向について、エネルギー分野などで一部事業を開始している経済産業省と連携しながら把握することにより、その分野における技術知識の基盤を構築する。環境省と経済産業省が共同で技術開発の方向性を明らかにすることにより、民間等が行う技術開発を環境面とエネルギー面でのバランスをとりつつ、効率的かつ加速度的に推進する。</p>
2 進捗状況	<p>神戸市において、生ゴミから発生するバイオガスを利用した燃料電池システムを整備し、平成13年度より本格的な実施検証事業を行う。また、古河市において電動アシスト自転車と情報通信を組み合わせたシステムの検証事業を行った。</p> <p>「CO₂削減・固定化等技術知識ベース形成調査」については、平成13年度から、CO₂削減・固定化等技術に関する技術知識の基盤の構築に着手した。</p> <p>今後、平成15年度を目途に、CO₂削減・固定化等技術について、今後技術開発等を進めるべき技術コンセプトの整理、技術評価手法の構築、優先して評価を行うべき技術のリストの作成等を進める。</p>
3 評価	<p>神戸市における生ゴミから発生するバイオガスを用いた燃料電池システムの整備は完了しており、今後この運用による知見の充実を図っていくことが重要。</p> <p>「CO₂削減・固定化等技術知識ベース形成調査」については、経済産業省と共同で設置する「合同委員会」等を通じ、両省の効果的な連携を図っている。本調査の成果を活用し、重点的な技術開発を促進すべき分野や、その開発の推進の方向性を踏まえつつ、環境省と経済産業省の両省が相互に連携して、それぞれ特色のあるスキームで実施する提案公募や技術開発支援事業の効果的・効率的な推進を図る必要がある。</p> <p>また、当該技術の評価に必要な技術知識の基盤を構築し、特に重点的な技術開発を促進すべき分野や、その開発の推進の方向性を的確に示すことにより、民間等が行う技術開発の促進、それを国全体として効率的に支援していく枠組みの基礎の構築等を図る必要がある。</p>
4 予算事項名	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止先進技術実践普及事務費 ・CO₂削減・固定化等技術知識ベース形成調査費
5 対応副施策等	